発電所だより

3月号

東日本大震災から一年が経過し、被災埃及や被災地域の皆さんの理解とご協力を心より御礼申し上げます。

また、岐阜原子力発電所の運営に対する地域の皆さんの理解とご協力に心より御礼申し上げます。

現在、岐阜原子力発電所では、発電所の設立が一円となって、被災を受けた設備の復旧作業を着実に進めるとともに、発電所のさらなる対策を講じた様々な対策を実施しております。今後も引き続き、地域の皆さんが信頼される発電所づくりに取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

《大容量電源装置が完成しました》

2月2日、岐阜原子力発電所では、東京電力福島第一原子力発電所の事故を踏まえた緊急安全対策の一つとして、海抜2メートルの高台に設置した大容量電源装置が完成し、運用を開始しました。

岐阜原子力発電所では、地震や津波などにより、送電線からの全ての電源と、さらに非常用ディーゼル発電機が使用できなくなることを想定し、昨年3月末に高圧電源車4台を配備していますが、今回、大容量電源装置を設置したことにより、原子炉や使用済燃料プールをより効率的に冷却し、原子炉を100℃未満の冷却停止状態に維持するためには必要な設備を稼働させることができます。

今後は、大容量電源装置の円滑な操作のための訓練など、緊急安全対策に関する発電所の管理や訓練を継続的に実施して対応の習熟に努めるとともに、長期的な対策とし、発電所周辺に設置している非常用ディーゼル発電機と同様の性能を持つ常設の非常用発電機を発電所の高台に設置することとしています。

大容量電源装置の概要

今後運用を開始した大容量電源装置は、定格出力5,000kVA（4,000kW）の発電機を3台設置しており、専用の地下燃料タンクの軽油（9万リットル）で約29時間連続できます。

大容量電源装置および高圧電源車による電源確保

地震・津波

全交流電源の喪失

送電線からの電源喪失

非常用ディーゼル発電機の機械喪失

原子炉および使用済燃料プールの水位維持

原子炉の冷却停止に必要な設備

高圧電源車による電源供給

大容量電源装置による電源供給

原子炉の冷温停止

使用済燃料プールの冷却・水位維持

▲運用を開始した大容量電源装置（写真上）と大容量電源装置の基礎工事の様子（写真右下、右下、写真とコンクリートによるしっかりとした基礎の上に設置しています）
《図画コンクールの作品展を開催しました》

2月4日から12日まで、イオンモール石巻において、第10回 東北電力図画コンクール「想像の海の生きものたち」の作品展を開催いたしました。応募総数4,571点の中から一次審査を通過した200点の作品を展示し、来場された多くの方々に、子どもたちが一生懸命描いた想像力あふれる“海の生きものたち”をお楽しみいただきました。

「東北電力図画コンクール」は小学生以下の子どもたちを対象に、豊かな感性を1枚の絵に表現することを通じて、“想像力”と“考える力”を育むとともに、自然・環境・エネルギー等に対する関心を深めてもらうことを目的に平成14年より毎年開催しています。

《図画コンクールの作品展を開催しました》

2月4日から12日まで、イオンモール石巻において、第10回 東北電力図画コンクール「想像の海の生きものたち」の作品展を開催いたしました。応募総数4,571点の中から一次審査を通過した200点の作品を展示し、来場された多くの方々に、子どもたちが一生懸命描いた想像力あふれる“海の生きものたち”をお楽しみいただきました。

「東北電力図画コンクール」は小学生以下の子どもたちを対象に、豊かな感性を1枚の絵に表現することを通じて、“想像力”と“考える力”を育むとともに、自然・環境・エネルギー等に対する関心を深めてもらうことを目的に平成14年より毎年開催しています。

《図画コンクールの作品展を開催しました》

2月4日から12日まで、イオンモール石巻において、第10回 東北電力図画コンクール「想像の海の生きものたち」の作品展を開催いたしました。応募総数4,571点の中から一次審査を通過した200点の作品を展示し、来場された多くの方々に、子どもたちが一生懸命描いた想像力あふれる“海の生きものたち”をお楽しみいただきました。

「東北電力図画コンクール」は小学生以下の子どもたちを対象に、豊かな感性を1枚の絵に表現することを通じて、“想像力”と“考える力”を育むとともに、自然・環境・エネルギー等に対する関心を深めてもらうことを目的に平成14年より毎年開催しています。▲作品展の様子。多くの皆さまにお薦めいただき、ありがとうございました。